

# サステナブルな社会と ウェルビーイング 視察ツアー2025

～人・経済・環境を豊かにする、北欧＆オランダモデル視察～

企業の経済活動を通じて持続可能な社会を実現する  
「**サステナブル経営**」は  
日本経済においても重要な要素として浸透しています。  
企業においてサステナブル経営を実現するために「環境」「社会」「経済」のトリプルボトムラインと  
呼ばれる3つの要素にバランスよく注力することが求められています。

環境だけではなく、従業員の健康と幸福＝「**ウェルビーイング**」を重視し、  
ダイバーシティ＆インクルージョンを推進することで、多様でイノベーティブな取り組みを支援することで  
新たな価値を発揮できる環境を整えることも企業の社会的な責任として重要視されています。

ワークライフバランスを重視することは、企業の競争力強化、社会全体の幸福度向上、  
そして持続可能な未来を築くために不可欠な取り組みと言えるでしょう。

欧州では、1ヶ月以上ものの有給休暇を楽しみつつ、着実に経済成長を遂げている  
スウェーデンやオランダでは、仕事と暮らしの相乗効果が注目を集めています。

また、週休4日制の試験的導入が一部で始まるなど、  
生活の質(QOL)と生産効率、創造性を同時に高めるための取り組みが加速しています。

個人の「ウェルビーイング」を最大限に引き出すことが、  
持続可能で、強い経済にもつながるという考え方です。

本ツアーでは、サステナブルな社会づくりの分野と、近未来型ワークライフバランスの分野で  
先行するスウェーデンとオランダで、企業や自治体によるサステナビリティの取り組み、  
都市開発やオフィス空間による働き方のデザイン、ワークライフバランスを後押しする制度、  
企業の取り組みなど、幅広いアプローチについてご紹介します。

**日本におけるワークライフバランス変革（トランスフォーメーション）への  
ヒントを一緒に探っていきましょう。**



# BACK GROUND

## 1980年代

イギリスで女性の社会進出が進み  
仕事と家事の両立をサポートするための概念として普及

## 近代

男女共に「ワーク」と「ライフ」を分けて  
プライベートを大切にする考え方が一般化

## 現在

「ワーク」と「ライフ」を融合して  
個人の心身のウェルビーイングを向上を重要視

# Work-Life Transformation

- ▷ 多様な働き方に対するニーズの変化
- ▷ 従来：「ワーク」と「ライフ」を切り離してバランスを保つことを重要視
- ▷ 近年：「ウェルビーイング」を最大限に引き出すため包括的にアプローチ

## POINT

- ・ “働く”テクノロジー＝ワークテックが盛ん
- ・ “働く”をサポートする制度設計やコミュニケーションデザイン
- ・ ハードとソフトの両方からのアプローチが必要となる
- ・ 企業のパーパスと自身の社会的価値創出の実感が強みに



# 参加することで得られる価値

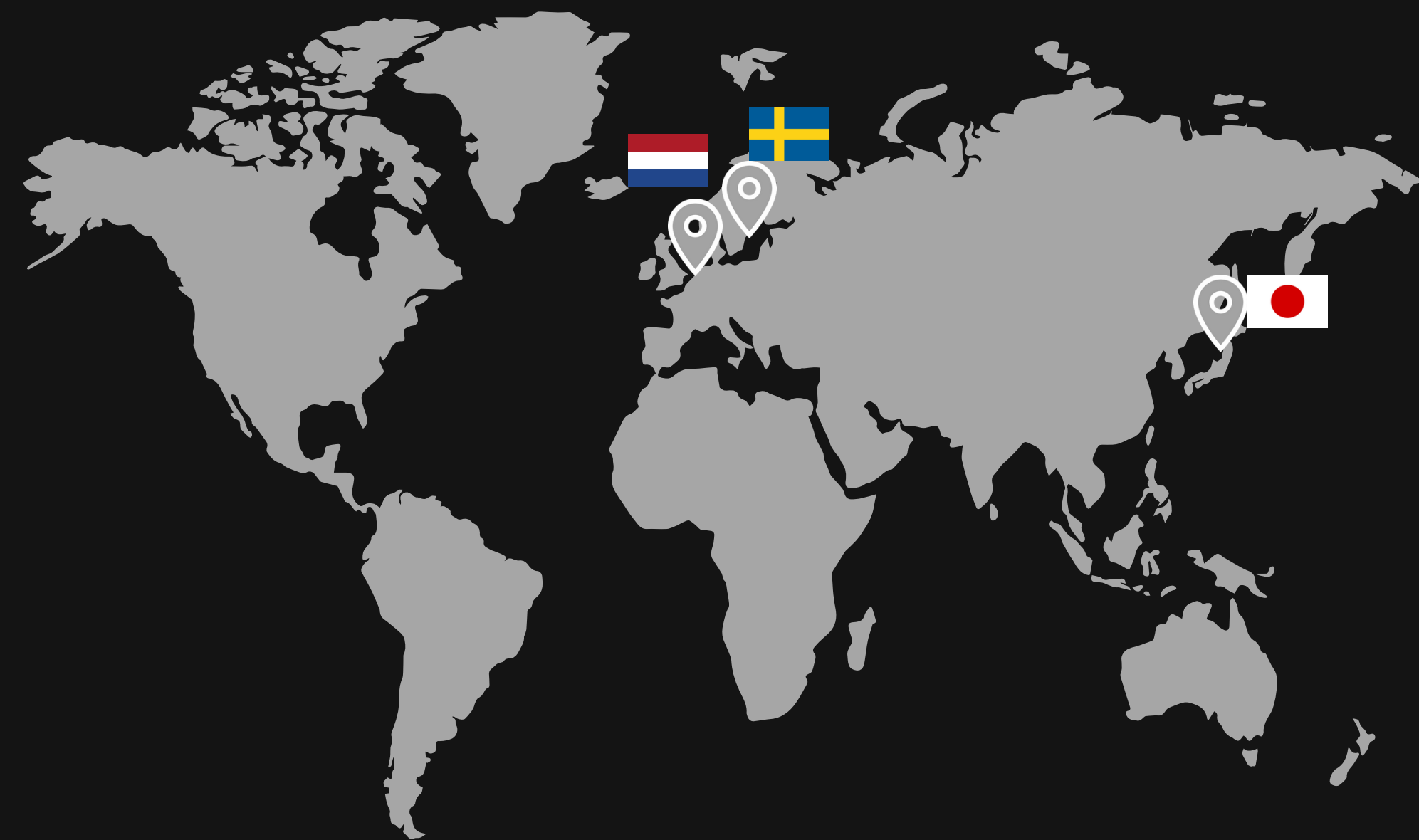


- ワークライフバランスとサステナビリティに関する最新情報
- 未来の働き方や暮らし方への新たな視点
- 具体的なアイデアやノウハウ
- 同じ志を持つ仲間とのネットワーク
- 上記を取り入れた実際のオフィス空間や都市の知見

## 参加対象

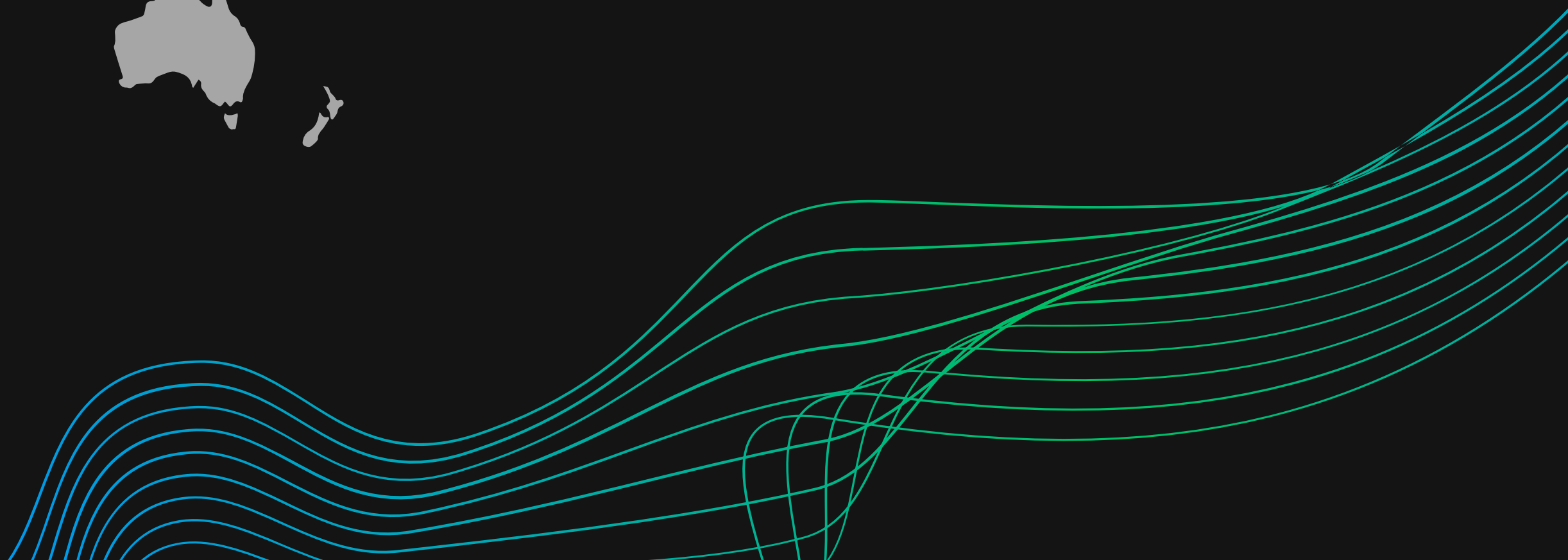


- ワークライフバランスの次なる取り組みを検討されている方
- 人・社会・環境への価値づくり、サステナビリティに関心のある方
- 革新的なオフィス空間や都市開発に興味のある方
- サーキュラーエコノミーやダイバーシティについて学びたい方
- より良い未来の創造に貢献したい方



## Sweden × Netherlands

人と環境に配慮しつつ強い経済発展を遂げているスウェーデンとオランダで、近未来型ワークライフバランスを実現する都市開発やオフィス空間による働き方のデザイン、ワークライフバランスを後押しする制度、企業の取り組みなど、幅広いアプローチについてご紹介します。







# Sweden

スウェーデンは、環境負荷を大幅に下げつつ、生活の質の向上と経済発展を続ける国として注目されています。

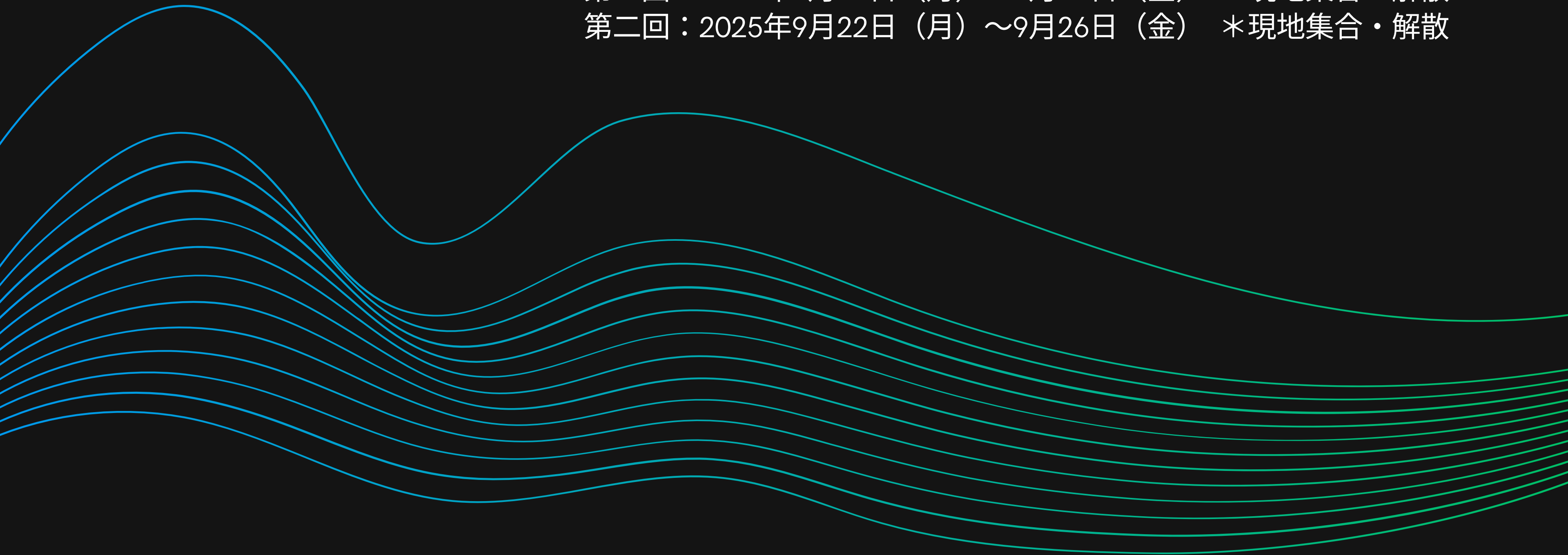
世界初の男女対象の育児休暇導入をはじめ、長期有給休暇、フレキシブルなワークスタイルなど、働き手の権利や自由度を守りつつ、企業や社会の発展に積極的に関わる自主性と高い生産性、創造性を生み出しています。



# SCHEDULE

第一回：2025年3月10日（月）～3月14日（金） ＊現地集合・解散

第二回：2025年9月22日（月）～9月26日（金） ＊現地集合・解散



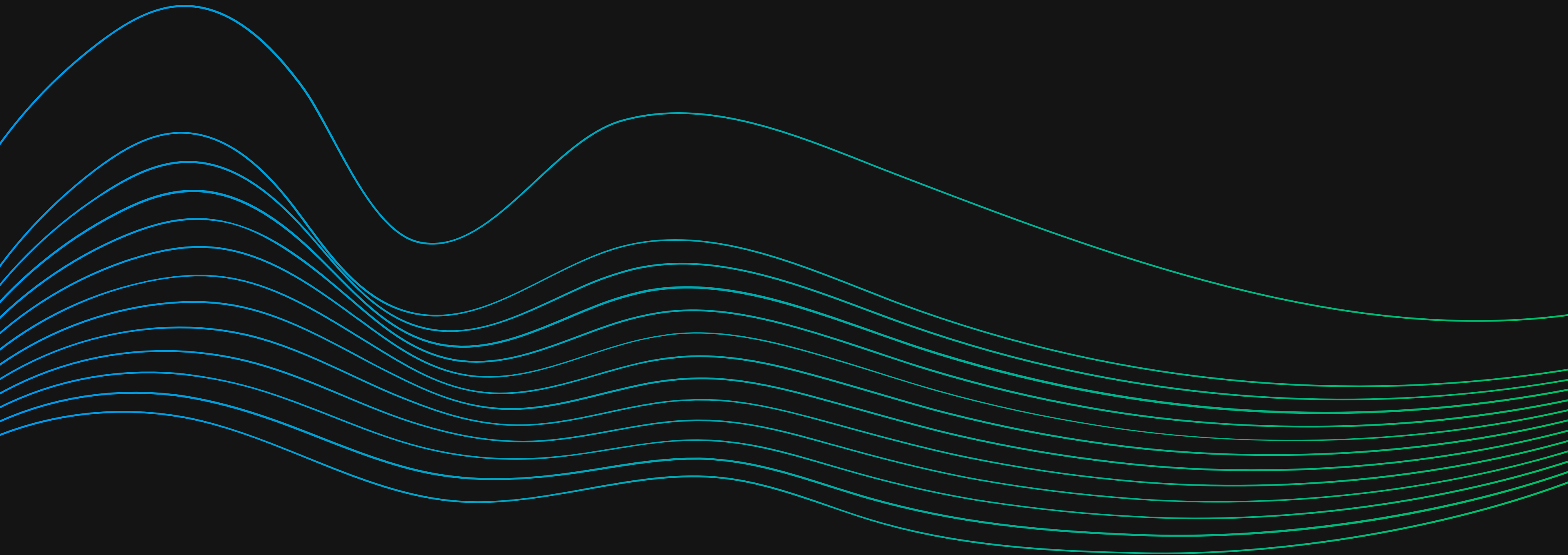


# SCHEDULE (スキャンジナビア航空利用の場合)

日程	都市	時間	交通	通訳	スケジュール	食事
① 3/9 (日)						夕：－
	【航空券手配希望の方（スカンジナビア航空）】					
	羽田	9:55	SK984		羽田空港発、SK984便にてコペンハーゲンへ 【所要時間：13時間35分】	
	コペンハーゲン マルメ	15:30			コペンハーゲン空港着 列車にてマルメへ ホテル着、チェックイン 夕食（各自） 【マルメ泊】	
② 3/10 (月)	マルメ	終日	公共交通機関		ホテル発、公共交通機関にて視察へ	朝：○  昼：－  夕：－
				通訳	【セミナー】 Sustainable Sweden	
				通訳	【視察】 Circular Walk	
				通訳	【視察】 City Hall プログラム終了～解散 夕食（各自） 【マルメ泊】	
③ 3/11 (火)	マルメ	終日	公共交通機関		ホテル発、公共交通機関にて視察へ	朝：○  昼：－  夕：－
				通訳	【視察】 BLOXHUB	
				通訳	【視察】 Ung Företagsamhet	
				通訳	【視察】 IKEA Hubhult プログラム終了～解散 夕食（各自） 【マルメ泊】	
④ 3/12 (水)	マルメ コペンハーゲン アムステルダム	終日	公共交通機関		ホテル発、公共交通機関にてコペンハーゲンへ 空港着～チェックイン コペンハーゲン空港発、SK547便にてアムステルダムへ 【所要時間：1時間30分】	朝：○  昼：－  夕：－
					アムステルダム空港着 列車にてホテルへ ホテル着、チェックイン 夕食（各自） 【アムステルダム泊】	

	日程	都市	時間	交通	通 訊	スケジュール	食事
⑤	3/13 (木)	アムステルダム	終日	公共交通機関		ホテル発、公共交通機関にて視察へ	朝：○  昼：－  夕：－  【アムステルダム泊】
					通 訊	【セミナー】オランダワークライフバランス	
					通 訊	【視察】Booking.com	
						昼食（各自）	
					通 訊	【視察】Great Place to Work 「アワード受賞企業訪問」	
	通 訊	【視察】Best Workplaces NL *Great Place to Work 「アワード受賞企業訪問」					
					プログラム終了～解散		
					夕食（各自）		
⑥	3/14 (金)	アムステルダム  アイントホーフェン	終日	公共交通機関		ホテル発、公共交通機関にて視察へ	朝：○  昼：－  夕：－  【アムステルダム泊】
					通 訊	【視察】EDGE Stadium / Olympic	
						移動	
					通 訊	【視察】Workplace Vitality hub	
						昼食（各自）	
	通 訊	【視察】Workbrands					
					プログラム終了～解散		
					夕食（各自）		
⑦	3/15 (土)			各自		ホテルチェックアウト ホテル発、ご自身にて空港へ 空港着～チェックイン	昼：－
						【航空券手配希望の方（スカンジナビア航空）】	
		アムステルダム	7:40		SK6601	アムステルダム空港発、SK6601便にてコペンハーゲンへ 【所要時間：1時間20分】	
		コペンハーゲン	9:00			コペンハーゲン空港着（乗継）	
		コペンハーゲン	11:20		SK983	コペンハーゲン空港発、SK983便にて羽田へ 【所要時間：12時間35分】	
						【機内泊】	
⑧	3/16 (日)	羽田	7:55		羽田空港着		
※上記プログラム、フライトスケジュールは現時点の予定となります。視察先都合による事由等で今後変更する場合があります事、予めご了承ください。							

# DESTINATIONS





# Destinations in Sweden

Day 1

## Sustainable Sweden



### 講演：サステナブル・スウェーデン

スウェーデンのサステナビリティを切り口とした歴史と現在、ヴィジョンについての講演。

サステナビリティの原理原則（人・環境・経済）から、ワークライフバランス、ジェンダー、ダイバーシティが企業や社会発展においてどう位置づけられ、取り組みが進んでいるか等について紹介します。

## Circular Walk



### 見学・体験：サーキュラーウォーク

街を歩きながら、循環型経済（サーキュラーエコノミー）の様々な取り組みを紹介します。

循環型経済、脱炭素は、これからの社会・経済発展において不可欠なテーマに企業や自治体はどう取り組んでいるか、社会システムにどのように組み込まれているかなどを見学します。

## City Hall



### 訪問：市役所訪問

スウェーデンの働く環境に関する法規制、取り組みについて講演。

ワークライフバランス関連の法規制や基本方針（ジェンダー平等など）、人間工学視点での環境整備、ウェルネスアワー、ウェルネス補助、企業との協働について紹介します。



# Destinations in Sweden

Day 2

## BLOXHUB



### 施設見学：BLOXHUB（ブロックスハブ）

循環型経済を具現化するために、企業・団体・研究機関などのエコシステムの構築と協働を促進する施設。

欧米、アジアを拠点に、エネルギーと創造性溢れるシェアオフィスを見学。サステナブルな経済実現にむけた、多様なステークホルダーによる協働について話を伺います。

## Ung Företagsamhet



### 訪問：UF起業家育成支援組織

高校生が実際に起業し、会社登記から、経営、事業の閉鎖までを体験する起業家育成支援プロジェクトを行うNPO団体「Ung Företagsamhet」を訪問。

スウェーデンでスタートアップが活発な理由やサステナビリティ課題解決を行う事業、企業経営者と若者との協働等について話を伺います。

## IKEA Hubhult



### 訪問：IKEA Hubhult

北欧で最も環境配慮したオフィスビルとして知られるIKEA Hubhultの訪問。働く人たちの生産性や創造性、ウェルネスを高める職場環境を追求し、科学的、人間工学的なアプローチから様々な取り組みを推進。

見学では、ハード面とソフト面の両側からのアプローチについて、話を伺います。





# The Netherlands

フレキシブルなワーキングカルチャーが秘訣

OECDの調査ではワークライフバランスや従業員満足度において上位にランクインしており、世界でも有数の魅力的な働き方を実現している国の一つです。長時間労働をしている人の割合はなんと0.3%（日本の15.7%）このような働き方の背景に労働時間差別禁止法などの規制に加えてワーキングカルチャーが働きやすい環境を作り上げています。





# Destinations in the Netherlands

Day 1

## Introduction Session



### 訪問：Introduction Session

オランダの働き方に関する基礎知識と調査事例のプレゼン。オランダに拠点を置くJGLより様々な業界の働き方に関する調査事例をご紹介します。

## EDGE Stadium / Olympic



### 施設視察：EDGE Stadium / Olympic

EDGE Stadium / Olympicは、単なるオフィススペースではなく、サステナビリティ、健康、イノベーションを融合させた、未来型の働き方を象徴するような場所です。企業が目指すべきオフィス空間の理想形の一つとされています。

## Great Place to Work



### 訪問：Great place to work

グローバルの職場を評価・認定する機関

世界中で働きがいのある職場として認められている企業を認定するグローバルな組織です。オランダ本社を置く企業も数多く認定されており、魅力的な働き方や企業文化を提供しています。



# Destinations in the Netherlands

Day 2

## Best Workplaces NL



### 訪問：Best Workplaces NL

Great place to workにて2024年度のアワードを獲得した企業の1社を訪問「AethiQs、Mobilee、AbbVie、Hilton」など

## Workplace Vitality hub



### 訪問：Workplace Vitality hub

Eindhoven High Tech Campus内、働き方を研究する機関

幅広い知識と経験を結集し、より活力のある職場環境のための現実的で革新的かつ効率的なソリューションを生み出しています。

## Workbrands



### 訪問：Workbrands

サーキュラー空間デザイン会社

働く環境を循環型にすることで従業員満足度と環境保護を同時に達成する空間デザインに特化したソリューションを数多く手掛けています。



# ツアー概要

ツアー名	サステナブルな社会とウェルビーイング 視察ツアー-2025
旅行企画	サステナブルイベントネットワーク（運営：株式会社ジャパングレーライン） 株式会社ワンプラネット・カフェ
旅行取扱	株式会社ジャパングレーライン（観光庁長官登録旅行業35号）
視察期間	第一回：2025年3月10日（月）～3月14日（金） ＊現地集合・解散 第二回：2025年9月22日（月）～9月26日（金） ＊現地集合・解散
訪問先	スウェーデン・オランダ
ご宿泊ホテル	環境ラベル認証ホテル ＊予定
食事	朝食6回 昼食0回 夕食0回
募集人数	20名（先着順、定員になり次第締め切らせていただきます） ＊最小催行人数12名
添乗員	日本からの同行添乗員はなし（現地弊社社員対応）
推奨航空会社（希望者）	スカンジナビア航空（ご希望者は航空券の手配も承ります）

# ツアー概要

ツアー代金	お一人様：700,000円（ホテルシングル利用の場合） お一人様：600,000円（ホテルツイン利用の場合） お一人様：500,000円（現地ホテル自己手配の場合）
お支払方法	弊社指定銀行振込
お申し込み方法	次ページのURLまたはQRコードよりお申込みください。
ツアー代金に含まれるもの	現地視察費(各施設の入場料、案内等含む)、現地通訳/帯同スタッフ費、 宿泊費(6泊分/朝食付)、コペンハーゲン～アムステルダム間片道航空券、 プログラム中の公共交通機関移動費、資料 ＊これらの費用はお客様の都合により一部利用されない場合でも原則として払戻いたしません。
ツアー代金に含まれないもの	上記以外項目は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。 国際線往復航空券、プログラム期間中の食事代（昼食、夕食）、海外旅行傷害保険、 ホテル滞在中の個人的性質の諸費用、日本国内におけるご自宅～国内空港間の交通費（往復）
ご参加条件	渡航に関してご不明点がある場合は担当窓口へお問い合わせください。 ・パスポートの残存期間は原則としてオランダ出国時3ヵ月以上必要となりますのでご注意ください。



# お申込はこちらから

<https://ws.formzu.net/dist/S57536403/>



今回ご案内したスケジュールでは参加が難しい、またはオリジナルで行程やプログラムを作成したい等、ご要望・ご質問がございましたら、お気軽に下記までご連絡くださいませ。

株式会社ジャパングレーライン内 サステナブルイベントネットワーク

MAIL : sen@jgl.co.jp

**THANK YOU**

